

学校関係者評価報告書

学校法人 麻生塾
麻生美容専門学校

目次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針	- 3 -
2. 学校関係者評価委員出席者名簿	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況	- 4 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法	- 4 -
5. 学校関係者評価の評価方法	- 4 -
II. 学校関係者評価委員会報告	- 5 -
1. 重点項目について	- 5 -
2. 基準項目について	- 7 -

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者等・地域住民などの学校関係者が、麻生美容専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属(役職)	出欠
業界関係者	林 圭一	株式会社ダリア 福岡営業所 次長	出席
高等学校	井上 雅水	福岡県立ありあけ新世高等学校 校長	出席
地域住民	浦川 美代子	博多駅南1丁目 自治会長	出席
卒業生	奥野 祐希	株式会社プランツヘアー 代表取締役	出席
保護者等	倉岡 秀美	美容科2年生 保護者等	出席

※区分別、五十音順、敬称略

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時:2025年6月23日(月)16:00 ~ 17:30

場 所:麻生塾 福岡キャンパス10号館 2階 大会議室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

2024年度の活動実績に対し学校関係者評価委員と学校とで十分な意見交換を行い、学校の状況について共通理解を深めた。

自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果、課題及び改善策について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1)自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2)今後の解決方向が適切かどうか
- (3)学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4)その他、学校の運営に関する助言

5. 学校関係者評価の評価方法

基準項目の小項目ごとに、自己点検・評価と同じく下記の評価基準によって評価し、基準ごとに自己評価結果が適正であるかどうかを評価した。

自己評価結果に対する学校関係者評価の結果は基準項目ごとに表記している。

また、意見についてもとりまとめて記載している。

評価基準

- S:適切
- A:ほぼ適切
- B:やや不適切
- C:不適切

Ⅱ. 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

【重点項目】

1. 重点項目

- ① 美容師国家資格取得率 100%を目指す
- ② 学習・就職支援
- ③ 企業とのコミュニケーション

【取組み状況及び総括(成果と課題)】

① 美容師国家資格取得率 100%を目指す

美容師国家試験の合格率は、2023年度は目標を下回り、2024年度の重要課題の一つとなっています。学生が「国家試験」に合格して初めて、美容師として社会で活躍できることから、美容師国家資格の取得は、美容学校の「存在意義」を問う重要な指標といえます。そのため、全員が無事に資格を取得することを、2024年度の重点目標の一つとして取り組んでまいりました。

【実技試験対策】

実技試験対策として、2024年度初めに技術習得の指針を学生に示し、月1回の進捗確認を実施しました。技術の未到達者に対しては、放課後にフォローアップ授業を行い、習得をサポートしました。また、レベル別のクラス編成を行い、学生一人ひとりの習熟度に応じた授業を実施することで、技術習得の均一化を図ってまいりました。

その結果、実技試験においては、日々の授業で学生一人ひとりの技術力に応じたきめ細やかな指導を行い、ほぼ全員が合格レベルに到達しました。

【筆記試験対策】

筆記試験対策では、国家試験科目に対応する問題を作成し、前期試験では2択200問の形式で実施しました。正答率の低い学生にはフォローアップ授業を行い、再テストを通じて理解度を確認しました。後期試験では、試験回数を2回に分け、10月に実力試験、2月に後期末試験を実施し、複数回のチェックを可能にすることでPDCAサイクルを回しました。今後は、習熟度別クラス編成をさらに推進し、学生のレベルに応じた筆記試験対策を強化していく予定です。

筆記試験対策としては、例年より約二か月早く準備を開始し、前期試験後には保護者等を交えた三者面談を実施しました。この面談では試験結果と対策を共有し、家庭での協力体制を構築しました。また、1月以降は実技指導と並行して座学の対策授業も進め、全員合格に向けた取り組みを強化しています。

現状の課題として、以下の点が挙げられます

- ・ 授業内容の進度にばらつきが見られること
- ・ 教員の適切な配置の必要性
- ・ 筆記試験を苦手とする学生への更なるフォローアップ

国家資格の全員取得を確実にするためには、これらの課題を解消することが求められます。そのために、習熟度別クラス編成を含めた総合的な分析と考察を進める必要があると考えています

② 学習・就職支援

本校では、学生が1年次から国家試験と就職の二本柱を意識しながら学校生活を送ることを目標としています。

2024 年度より、美容科の担任は自身の担当科目に加え、非常勤講師が担当する科目についても授業中に教室内を巡回し、学生が主体的に学ぶ姿勢を身につけるよう指導しています。全員が同じレベルで成長できるよう配慮し、授業の進捗に遅れが生じないように、欠課した学生に対し補習を随時実施しています。また、就職に関しては三者面談やホームルームの場を活用し、「内定は国家資格を取得したうえでの入社が前提である」ことを繰り返し伝えていきます。2 年次のスケジュールでは、就職試験を経て国家試験に臨む流れとなるが、最も重要なのは国家試験の合格であり、それを前提とした就職であることを一貫して指導しております。

本校では、1 年次担任全員が、非常勤講師の授業を含む授業中の教室を巡回することで、学生が緊張感をもって授業に臨む姿勢が多く見受けられました。また、この取り組みにより、教員と非常勤講師の間で授業手法や学生指導に関する情報交換をおこなっています。就職に関しては、全員が早い段階で、就職活動前に学内で実施した面接テストに合格しています。

③ 企業とのコミュニケーション

本校では、美容業界をリードする多様な分野のスペシャリストを講師としてお招きし、学生が最新の技術や考え方を学ぶ「プログレッシブセミナー」(以下、「プログレッシブセミナー」)を 12 回実施しました。セミナーでは、日本国内のみならず世界で活躍する現役美容師によるカット技術などを学生が直接学ぶ機会を提供しました。さらに、実技授業として、カットやシャンプーの指導を福岡市内の複数のサロンで活躍する美容師を講師として行い、学生の技術力向上を図りました。

プログレッシブセミナーにて講師となったサロン等に、受講した学生の内 20 名の学生が就職内定しました。これは、同セミナーを通して東京都等の有名サロンの企業研究の機会となり学生の就職活動への支援の一環として成果がありました。

一方で 同セミナー講師と教員との授業後の振り返りの機会がなく2025年4月からは、セミナー後定期的に講師と教員とのコミュニケーションの時間を設けています。

【委員の方からのご意見】

■質問

・2024 年度には、国家試験対策として、技術・習熟度別にクラスを分けたというのはどのようにしたのでしょうか。

■回答

・国家試験合格到達レベルに応じたクラスに分け、合格レベルに到達できていないクラスへ教員を手厚く配置しました。教員を適正に配置し、技術・習熟度別クラスに分けて指導することで、2023 年度よりレベルは上がりました。筆記試験対策は改善の余地があり、2025 年度の取り組みに生かしていきたいと思っております。

■質問

・保護者等含めた面談を全員実施したとのことですが、いかがでしたでしょうか。

■回答

・成績などの結果や試験対策状況について保護者等と共有し、国家試験に向かう意識も併せて共有していただきました。

■質問

・授業内容の進度にばらつきがあるというのはどういうことでしょうか。

■回答(山口主任)

・学生の技術レベル差や教員の熟練度により、授業の進め方や進度に差が出てくる場合があります。このような差異が生じないように、教員の配置を工夫するなど対応策をとっています。

■質問

・筆記試験に関する学習、知識については、クラスで教えあう雰囲気が出てやる気になったのでしょうか。

■回答

・こういう取り組みによってか、それぞれのクラスともにみんなで合格しよう、という機運が高まりました。

2. 基準項目について

基準 1 教育理念、目的、育成人材像

学校関係者評価結果: 適正

法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を定め、学校構成員に周知を図り、社会に公表しているか。

【取り組み状況】

学校法人麻生塾の教育理念は、「専門性を高め、かつ人間性・人格の成長を図ること」と定めています。また、麻生美容専門学校では、教育理念として「技・創・心」を掲げています。本校は、「志」の高い「美容業界で活躍し続ける人材」の育成を目指しています。これらの法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的および育成人材像については、ホームページ、学生便覧、学校紹介パンフレット、オープンキャンパス、入学予定者対象の説明会、高校教員対象の説明会、学内企業説明会などを通じて学内外に明示し、広く周知しています。また、講師会や学校関係者評価委員会でも確認し、定期的に点検を実施しています。特に新入生に対しては、これらの内容を掲載した学生便覧を全員に配布し、オリエンテーションやホームルームを通じて指導しています。

【課題及びその改善方策】

特になし。

【委員の方からのご意見】

特になし。

小項目	評価項目	自己点検・評価	学校関係者評価
1-1-1	「学校の教育理念」を定め、学校構成員(すべての教員、職員、学生)及び関連業界に周知を図り、社会に公表しているか。	S	S
1-1-2	各学科の教育目標(育成人材像)を定め、学校構成員(すべての教員、職員、学生)及び関連業界に周知を図り、社会に公表しているか。	S	S

基準 2 学校運営

学校関係者評価結果: 適正

- 2-1:学校の教育理念に沿った運営方針を定めているか
- 2-2:事業計画を作成し、執行しているか。
- 2-3:運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか。
- 2-4:人事・給与に関する制度を確立しているか。
- 2-5:情報システム化等による業務の効率化が図られているか。

【取り組み状況】

中項目2-1

本校では、教育理念に基づき運営方針を策定し、説明用の資料を作成しています。この資料は、毎年年初に開催するキックオフミーティングで全教職員に共有しています。

中項目2-2

本校では、年初に年度の運営方針を定め、その方針に基づき事業計画を策定し、全教職員へ周知しています。さらに、各課程では校務分掌を作成し、計画に沿って執行しています。事業計画の執行状況は、定期的に教員会議などで確認しています。

中項目2-3

法人としての運営組織や意思決定機関は明文化され、有効に機能しています。理事長・副理事長・常務理事・理事・本部長・監事が参加する常任理事会を隔月開催しており、組織の課題等について合議しています。また、各校・各部門の校長代行、部門長以上が情報共有を行う部門長会議など各階層別・目的別で必要な会議体が設計されており、計画通りに開催されています。

中項目2-4

就業規則をはじめとした人事諸規程および労使協定書が法令に遵守し整備されています。
また、法人運営方針や労働関連法改正に対応し各規程のメンテナンスを実施しています。諸規程は全教職員が閲覧できるよう電子ファイルにて公開されており、変更の際は新旧対照表とともに教職員へ周知されています。

2024年4月の人事制度改正にて、新制度設計の整備が完了し、教職員への変更点説明会を実施し周知を行っています。併せて、各個人の理解が深まるよう新旧対照表とともにFAQを公開し周知されています。

採用活動においては年間採用計画をもとに、募集を自社ホームページや外部媒体に適宜掲載し欠員・充足状況等をふまえ更新しています。選考過程ではシステムに経過や決裁等を記録保管し、適正に活動をすすめています。

中項目2-5

情報システム化により、業務を効率的に遂行しています。学生情報や教職員の勤怠管理を含めた情報システム化を進めており、学校法人麻生塾独自の情報管理システム「麻生塾システム」を活用して、広報、入試、学籍、教務、就職など学校運営に必要な情報を一元管理しています。

【課題及びその改善方策】

特になし。

【委員の方からのご意見】

特になし。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
2-1-1	学校の教育理念に沿った運営方針を策定しているか。また、運営方針を教職員に周知しているか。	S	S
2-2-1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか。	S	S
2-2-2	事業計画は適正に執行されているか。	S	S
2-3-1	法人の運営組織や意思決定機能は規程等において明確化されているか。また有効に機能しているか。	S	S
2-3-2	学校あるいは部門の運営組織や意思決定機能は明確化されているか。また有効に機能しているか。	S	S
2-3-3	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に行われているか。	S	S
2-3-4	学校業務を支援する事務組織が設置され、十分に機能しているか。	S	S
2-3-5	事務職員の意欲や資質・能力の向上を図るための方策を講じているか。	S	S
2-4-1	人事に関する制度を整備しているか。	S	S
2-4-2	給与に関する制度を整備しているか。	S	S
2-4-3	昇給・昇格制度を整備しているか。	S	S
2-4-4	教職員の募集・採用は適切に行われているか。	S	S
2-5-1	情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか。	S	S

基準 3 教育活動

学校関係者評価結果: 適正

- 3-1:教育理念、教育目標(育成人材像)に沿った教育課程を編成・実施しているか。
- 3-2:教育課程の編成・実施方針に基づき、教育課程・教育内容は適切に行なっているか。
- 3-3:教育の評価を適切に行っているか。
- 3-4:成績評価と単位認定を適切に行っているか。
- 3-5:教育活動を確実に実践するために、教育体制の整備を適切に図っているか。また教員の能力開発のための資質向上の取り組みを行っているか。

【取り組み状況】

中項目3-1

教育目標(育成人材像)に基づき策定されたディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを明示し、学校構成員(教職員および学生等)に周知するとともに、社会に公表しています。教育課程は、これらのポリシーに基づいて編成・実施されています。

学校構成員への周知方法として、学生には各クラス内で教員による読み合わせを行い、常勤教職員および非常勤講師には教務室内に常設掲示を行い、常時確認できる状態にしています。また、ホームページ上で広く社会に公表しています。さらに、年間計画立案時に定期的な検証を行っています。

中項目3-2

- ① 本校では、職業実践専門課程の認定要件に基づき、教育課程編成委員会にて業界ニーズ・社会ニーズの把握に努めています。そこで得た情報を基に、校長代行を中心にカリキュラム会議を実施し、カリキュラム編成委員会の意見も踏まえてカリキュラムを編成しています。カリキュラム・ポリシーに基づき、実践的な職業教育の視点に立った教育内容の定期的な見直しを行い、教育の充実を図っています。
- ② 専攻分野に関する企業・関係施設等や業界団体と連携として、全世界に 40 カ国 680 店舗を超える「トニー & ガイ」のカットシステムを導入するなど、時代のトレンドに沿った技術を学生に提供しています。「トニー & ガイ」をはじめとした業界のトップスタイリストと交流を活発にすることで、業界理解を深めるとともに実践教育の場として活用しています。さらに、2023 年度より導入したフランス・パリを発祥とする世界的ヘアブランド「モッズヘア」の教育を 2 年生の選択授業内で実施し、全受講者がディプロマ取得をしています。
- ③ 教育課程の編成・実施方針およびカリキュラムマップに基づき、実践的かつ専門的な教育課程を体系的に編成しています。実践的な職業教育については、全世界に 40 カ国 680 店舗を超える「トニー & ガイ」のカットシステムを導入するなど、時代のトレンドに沿った技術を学生に提供しています。「トニー & ガイ」をはじめとした業界のトップスタイリストとの交流を活発にすることで、業界理解を深めるとともに実践教育の場として活用しています。実施内容については、定期的な検証を継続的に行っています。
- ④ 授業に関しては、シラバスおよびコマシラバスをもとに授業を行い、授業開始時には学生への説明・周知を行っています。また、学習内容に変更があった場合には、シラバス内に記録を追記できるようにしています。
- ⑤ 専攻分野における実践的な職業教育として、インターンシップを実施し、学生たちは実際に職場体験を行いました。また、上述の「トニー & ガイ」のベーシック検定を学生全員が受験し、合格しています。
- ⑥ キャリア育成についても、学校法人麻生塾オリジナルの課目を履修に加え、日々の学生指導とともに、社会的・職業的自立を促しています。

中項目3-3

授業評価は、前期・後期に各1回全学年の学生を対象に授業アンケートを行っています。この授業アンケート結果は各教員に共有されます。その結果をもとに、校長代行及び主任と改善策についての面談を行っています。面談では、本人にフィードバック(授業とクラス運営についての評価や改善点を伝え、内容の良化を促す)を行い学生指導や授業方法について改善を促しています。

中項目3-4

成績評価、単位認定、進級および卒業判定に関する規程は、学生便覧に記載し、評価項目についてはシラバス等を通じて学生全員に周知しています。すべての科目で、学内で定められた成績評価基準に基づき、適切に成績評価を実施しています。進級および卒業判定についても基準を定め、学校責任者の立会いのもと、適切に判定を行っています。

中項目3-5

本校では、専修学校設置基準をはじめとする関連法令を遵守し、教員要件および定員に対する法令上必要な人員を適切に配置しています。専門性と経験を備えた教授能力のある教員を確保しており、質の高い非常勤教員を含む教員組織体制を整備しています。

各学年にはリーダーを配置し、適切な助言や指導が行えるよう組織体制を構築しています。新任教員に対しては、指導役教員をチューターとして配置し、OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング、実務を通して学ぶ訓練)を実施することで、指導力の向上および組織への適応を促しています。

さらに、教員の専門性や指導力を維持し、資質・能力を向上させるために、企業と連携し、トニー&ガイ認定講師資格更新研修やモッズヘア認定講師研修を受講しています。

【課題及びその改善方策】

本校は、産学連携を通じて地域企業と協力し、共同プロジェクトの実施や技術指導、人材育成を行うことで、美容業界の活性化と学生の成長を促しています。しかし、教育目標や企業連携の意義、教育課程の編成・実施方針について、学生への十分な理解が浸透しているとは言い難い状況です。2025年度も、学年別ガイダンスを実施し、これらの周知徹底を図っています。

【委員の方からのご意見】

■質問

・授業アンケートはどのようにしているのですか。

■回答

・授業ごとに理解度を確認する簡単なアンケートを実施し理解度を確認しながら進めています。また、前期・後期に全学年の学生を対象に授業アンケートを行い、授業評価を行っています。

■意見

・私の勤務する高校では、学校生活満足度測定アンケートを月に1回実施しています。それは無記名で生徒が書きやすいようにしています。この生活アンケートはいじめ対策でもあり、先生の指導できつい言葉がないか、体罰は見たことがないかという項目を入れています。

・いろいろな家庭環境の方もいらっしゃるの、アンケートでもお父さんお母さんという言葉は使いません。外部の方の講演会などで演者が人権的配慮のない言葉遣いをした場合は、その場で言い直しをします。教員にはこのような視点がなければいけないと考えております。学生さんは美容師になって、お客様と会話する際にも言葉の遣い方には十分注意しないといけないと思います。教員の能力開発においてもその点は必要な視点だと思います。

■意見

・私の勤務先では、従業員等へのアンケート等は第三者機関に依頼して集約しており、その結果は人事部門が把握することになっています。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
3-1-1	教育目標(育成人材像)に基づきディプロマ・ポリシーを明示し、また学校構成員(教職員及び学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか。	S	S
3-1-2	教育目標(育成人材像)に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員及び学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか。	S	S
3-2-1	教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	S	S
3-2-2	業界のニーズを踏まえ、実践的な職業教育の視点に立った教育内容(学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保等)が提供されているか。	S	S
3-2-3	専攻分野に関する企業・関係施設等や業界団体と連携して教育課程の編成を行っているか。	S	S
3-2-4	授業科目の目標を達成するための授業内容や授業方法になっているか。	S	S
3-2-5	授業及び実習に関するシラバスは作成しているか。	S	S
3-2-6	シラバスに基づいてコマシラバスを作成しているか。	S	S
3-2-7	授業はシラバス及びコマシラバスに基づいて実施しているか。	S	S
3-2-8	専攻分野における実践的な職業教育(インターンシップ、企業等と連携した実習・演習等)を教育課程に体系的に位置づけ、実施しているか。	S	S
3-2-9	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。	S	S
3-3-1	授業評価体制を整備しているか。	S	S
3-3-2	学生によるアンケート等で定期的に授業評価を実施しているか。	S	S
3-3-3	授業科目の目標に照らし、教育内容・授業方法が適切であるか確認しているか。	S	S
3-3-4	授業評価の結果を教員にフィードバックしているか。	S	S
3-3-5	授業評価の結果をもとに、授業内容・授業方法の改善を図るための取り組みを行っているか。	S	S
3-4-1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	S	S

3-4-2	学生や保護者等に、成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準、進級要件、卒業要件を適切に明示しているか。	S	S
3-4-3	各規程に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか。	S	S
3-5-1	法令に則り、学校の教育理念・教育目標の達成に必要な教員を確保しているか。	S	S
3-5-2	教員の組織体制を整備しているか。	S	S
3-5-3	教員に必要な知識・技能を身に付け、資質・能力の向上を図るための取り組みを行っているか。	S	S
3-5-4	教員に対して、専攻分野に係る関連分野の企業等と連携して、実務に関する研修・研究に組織的・計画的に取り組んでいるか。	S	S
3-5-5	教員に対して、企業等と連携して、指導力・教授力を習得、向上するための取り組みを行っているか。	S	S

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果: 適正

4-1:学科ごとに学生の学修成果を中心とした目的・目標を設定して教育活動を行い、多様な視点から成果の達成状況を把握し、改善に活用しているか。

4-2:卒業生の社会的な活躍および評価を把握しているか。

【取り組み状況】

中項目 4-1

本校では「成績」「資格取得」「退学者数」などに関する明確な目標を設定し、教職員全体で情報を共有・周知できる体制を整えています。

取り組みの進捗については、毎月「クラス運営報告書」を通じて、就職率・資格取得率・退学状況などをクラスごとに報告し、学校法人麻生塾の経営企画グループが主催する経営会議及び教職員会議にて定期的に振り返りを行っています。

特に、2023年度(2024年3月)実施の美容師国家試験合格率は当初の目標を下回ったため、2024年度の重要課題の一つとなっていました。そのため、2024年度は効果的な授業内容の実施、自宅学習が可能な動画教材の活用、学生の自主性を引き出す取り組みを継続的に進めました。また、試験の傾向分析を行い、その情報を共有することで、高い合格率を達成するために組織全体で取り組みました。

中項目 4-2

本校では、卒業生が専攻分野でどのようにキャリアを形成しているか、その適応状況や効果について、各企業からのヒアリングを通じて意見を収集し、教育活動に反映させています。

また、卒業生の就業状況やその後の動向については、就職先企業との継続的なコミュニケーションを通じて、概ね把握できています。さらに、卒業生のコンペティション入選実績や離職に関する情報も、教職員会議などを通じて共有し、教職員全体で活用しています。

【課題及びその改善方策】

特になし。

【委員の方からのご意見】

特になし。

小項目	評価項目	自己点検・評価	学校関係者評価
4-1-1	就職率・就職者の割合の向上の取組みを行っているか。また結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか。	S	S
4-1-2	退学率の低減が図られているか。また結果を分析し、退学率を低減させる取組みを行っているか。	A	A
4-1-3	資格取得率、公務員合格率及びコンテスト・コンペ入選数の向上の取組みを行っているか。また結果を分析し、教育活動及び学生支援の改善を図っているか。	S	S

4-1-4	資格取得等に関する指導体制及びカリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	S	S
4-2-1	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への効果を把握しているか。また、それを踏まえ教育活動等の改善を図っているか。	S	S
4-2-2	卒業生の卒業後の動向や就業状況を調査・把握しているか。	S	S

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果: 適正

中項目5-1

学生に対する修学支援、生活支援、進路支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか。

【取り組み状況】

1. 就職・進路支援

担任および就職担当者が全学生との面談を実施し、希望する職種や地域を把握しています。また、就職関連の書類作成や面接練習を行い、個別支援を強化しています。

2. 学生相談体制

担任を中心に学生の状況を確認し、必要に応じて保護者等を含めた適切な支援方法を提案しています。

3. 経済的支援

担任と学校法人麻生塾キャリア支援グループ(以下、キャリア支援グループという)が連携して状況を確認し、保護者等を含めて適切な方法を提案しています。特待生制度、進級支援制度、学費分割納入制度など、多様な支援制度を提供しています。

4. 健康管理体制

健康診断を実施し、病欠時には病名や状況を確認する体制を整えています。

5. 生活環境の支援

学生寮の紹介や、必要な学生に対する Wi-Fi(登録商標)や PC の貸出を行っています。

6. 保護者等との連携

出席状況や成績、体調など学生の状況を保護者等に随時連絡し、密なコミュニケーションを図っています。

7. 卒業生への支援

「ASO 卒業生キャリア支援 CONNECT」を通じて、転職相談や再就職の斡旋を行っています。

8. 社会人学生(通信課程)への支援

Microsoft Teams(製品名)を活用したチャットでの連絡・相談を実施するとともに、動画コンテンツを利用可能な環境を整備しています。また、通信課程は専門実践教育訓練講座の指定を受けています。

9. 課外活動支援

希望者には部活動の場を提供するとともに、外部との連携によるヘアメイクイベントなどを定期的を開催しています。

【課題及びその改善方策】

特になし。

【委員の方からのご意見】

■質問

・卒業生の支援について、就職の活動についてはいかがでしょうか。また、「ASO 卒業生キャリア支援 CONNECT」の稼働はどうでしょうか。

■回答

・2024 年度は 100 社以上の求人がきております。福岡だけではなく県外に行く学生もおりまして、常に就職に関

する問い合わせはありますが、就職に結びつかないということもあります。

・卒業生は、「ASO 卒業生キャリア支援 CONNECT」を活用して就職活動を行っています。稼働3年目、2024年度は法人全体で100件、ABCは4件程度の求人登録があります。

・このコネクトは、コロナ禍の時期に専門領域の業界に就職できない学生のために、法人全体の求人を活用できるようにと作られました。美容業界に就職しない学生も他の12校の求人票を活用し、他業種に就職することもあります。再就職先を探している学生の支援もありますので、求人情報の活用の幅は広がると思います。

■質問

・学生の出欠確認はどうしているのですか。

■回答

・出欠確認は毎日行っています。欠席・欠課している学生には都度連絡をしています。

■意見

・美容業界に従事する者としては、この業界に残って欲しいとは思いますが、その方の人生を考えたとしたら道が広がることは非常に大きなことだと思います。

■意見

・私が勤務する高校では、生徒等から3日連絡がないときには直接生徒の顔を確認して対応するように担任教員に指示しています。安否確認も含めて、生徒の様子を把握するために行っています。参考までお伝えしておきます。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
5-1-1	学生の就職・進路支援を適切に行っているか。	S	S
5-1-2	学生相談に関する体制を整備しているか。	S	S
5-1-3	学生の経済的側面に対する支援制度を整備し、適切に運営しているか。	S	S
5-1-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	S	S
5-1-5	学生の生活環境への支援を行っているか。	S	S
5-1-6	保護者等との連携を適切に行っているか。	S	S
5-1-7	卒業生への支援体制を整備しているか。	S	S
5-1-8	学生の課外活動に対する支援を適切に行っているか。	S	S
5-1-9	社会人学生への支援体制を整備しているか。※	S	S

※社会人学生とは、学生のうち、職に就いている者(給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者)をいう。

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果: 適正

6-1:教育運営に支障を生じさせないように教育設備を整備しているか。

6-2:教育環境を適切に維持しているか。

【取り組み状況】

中項目6-1

学校法人麻生塾福岡キャンパスでは、共用施設として総合図書館を設置しています。総合図書館では、利用規程やルールを定めて学生便覧に掲載し周知しています。

また、固定資産管理規程に基づき、図書や雑誌を含む資料類を適切に管理しています。

中項目6-2

本校では、インターンシップにおいて企業と連携し、全学生に対する報告書および評価書の作成を依頼し、すべての学生について企業から評価書類を提出いただいています。

万が一アクシデントが発生した際には、担当者が企業を直接訪問し、問題解決に努めています。

また、インターンシップ中・通学中・学内での事故に備えて、全学生が「学生災害傷害保険」に加入しています。

防災対策としては、火災や地震の発生に備えた避難訓練を実施しています。

【課題及びその改善方策】

特になし。

【委員の方からのご意見】

特になし。

小項目	評価項目	自己点検・評価	学校関係者評価
6-1-1	教育上の必要性に対応した施設・設備を整備し、維持・管理、安全・衛生を確保しているか。	S	S
6-1-2	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか。	S	S
6-1-3	図書室・図書コーナーがあり、図書館サービスは十分に機能しているか。	S	S
6-2-1	学校における安全管理体制の整備を行っているか。	S	S
6-2-2	定期的に防災訓練を実施しているか。	S	S
6-2-3	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	S	S

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果: 適正

中項目 7-1

学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。

【取り組み状況】

中項目 7-1

本校では、学生募集および入学者選抜を、募集要項およびホームページで公表している入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)に基づいて実施しています。この方針は、本校の教育理念や育成を目指す人材像を反映して策定されており、その内容はホームページ、募集要項、学校説明会などを通じて広く公開しています。社会に対しても、ホームページの情報公開欄にて公開しています。

教育成果を含む学校情報は、実績に基づき、学校案内、ホームページ、SNS、オープンキャンパスの説明資料などを通じて発信しています。

学生募集活動については、学校法人麻生塾キャリア支援部と連携し、適切に実施しています。また、入学者選抜においてもアドミッション・ポリシーに基づき、学校法人麻生塾学生支援グループと連携のうえ、公正かつ適切に実施しています。受験方法は「来校」または「オンライン」から選択して受験できるようにしており、遠隔地の学生や感染症リスクにも対応できる実施体制を整えています。さらに、その運用に関するノウハウや情報は Microsoft Teams で共有し、公正かつ適切に入学選抜を実施しています。

なお、校納金などの費用についても、定期的に見直しを行い、その内容を募集要項に明記して入学希望者へ公表しています。

【課題及びその改善方策】

特になし。

【委員の方からのご意見】

特になし。

小項目	評価項目	自己点検・評価	学校関係者評価
7-1-1	入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員及び学生等)に周知し、社会に公表しているか。	S	S
7-1-2	募集活動において、教育成果を含めた学校情報は正確に伝えているか。	S	S
7-1-3	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか。	S	S
7-1-4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか。	S	S
7-1-5	校納金(学生納付金)等は妥当なものとなっているか。	S	S

基準 8 財務

学校関係者評価結果: 適正

中項目8-1

教育活動を安定的かつ継続的に進めるため、財務基盤が安定し、適正な財務管理、監査の実施及び情報の公開を行っているか。

【取り組み状況】

中項目8-1

財務基盤は安定しており、貸借対照表や資金収支計算書にみる各種残高および基本金積み上げ額は、学生に必要かつ快適な教育環境を提供できる十分な財務体質を備えているといえます。

また、私立学校法及び寄付行為に基づき、監事による監査が適切に行われており、監査報告書を受領しています。

なお、ホームページにて、貸借対照表・収支計算書・財産目録・監査報告書を公開しています。

【課題及びその改善方策】

特になし。

【委員の方からのご意見】

特になし。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
8-1-1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。	S	S
8-1-2	予算計画は有効かつ妥当なものとなっているか。また事業・予算計画に基づき適正に執行管理されているか。	S	S
8-1-3	私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか。	S	S
8-1-4	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか。	S	S

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果: 適正

中項目9-1

法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正に学校運営を行なっているか。

【取り組み状況】

中項目9-1

学校法人麻生塾では、法務グループや教育推進グループなどの関係部署と連携し、学校教育法、私立学校法、美容師養成施設指定規則、専修学校設置基準などの法令を遵守して学校運営を行っています。また、届出、申請、報告などの手続きを確実に実施し、教務室内には『理容師・美容師関係法令通知集』を備え、いつでも確認できる体制を整えています。

さらに、法令に基づき、個人情報保護、ハラスメント防止、危機管理に関する学内諸規程を整備し、適切に運用しています。

【課題及びその改善方策】

特になし。

【委員の方からのご意見】

■意見

・私が勤務する高校では、教職員にハラスメントや飲酒運転をしないという誓約書を年初に提出してもらっています。また、残業時間のコントロールも月 1 回行っています。実習授業にもリスクがあるということを生徒に考えさせてから実習に参加させています。

・自転車で飲酒運転をしてはならないことを周知していただきたいです。

小項目	評価項目	自己点検・評価	学校関係者評価
9-1-1	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。	S	S
9-1-2	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか。	S	S
9-1-3	法令遵守違反等に対応する体制を整備しているか。また、法令遵守等に関する研修・教育を行っているか。	S	S

基準10 内部質保証

学校関係者評価結果: 適正

中項目10-1

教育の質を保証する仕組みを構築し、教育内容等について自己評価を行い、課題解決に取り組んでいるか。また、教育情報を積極的に公開しているか。

【取り組み状況】

中項目10-1

本校では、学校教育および運営の質を継続的に高めるため、毎年「自己点検・評価」を実施しています。自己点検は、担当教職員を中心に行い、課題の把握と改善・向上に向けた取り組みを進めています。また、自己点検・評価の担当委員を選任し、評価の実施から学校関係者による評価、結果の公表に至るまで、各段階を確実に実施しています。

具体的には、職業実践専門課程の認定要件に基づき、年1回の「学校関係者評価委員会」、年2回の「教育課程編成委員会」を開催し、有識者や業界関係者からの意見を定期的に収集しています。これらの意見をもとに、教育活動や学校運営の現状を検証し、指摘事項を踏まえて改善を行い、その結果を「改善報告書」としてまとめています。

さらに、自己点検・評価および学校関係者評価結果は、本校のホームページにて公表しています。

【課題及びその改善方策】

特になし。

【委員の方からのご意見】

特になし。

小項目	評価項目	自己点検・評価	学校関係者評価
10-1-1	学校教育、学校運営について、組織的に自己点検・評価を実施しているか。	S	S
10-1-2	自己点検・評価の結果に基づき、学校教育と学校運営の質の改善と向上のための取組みを組織的に、積極的かつ継続的に行っているか。	S	S
10-1-3	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施しているか。	S	S
10-1-4	学校関係者評価結果をもとに改善の取組みを行っているか。	S	S
10-1-5	自己点検・評価及び学校関係者評価の結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか。	S	S

基準11 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果: 適正

中項目11-1

公共的な機関として、資源を活用して社会的な活動や地域貢献活動を行っているか。

【取り組み状況】

中項目11-1

本校では、GCB 教育(グローバルシティズン・ベーシック教育、麻生塾独自のキャリア教育)の方針に基づき、学校の教育資源や施設を活用して毎年、社会貢献・地域貢献活動を奨励しています。

具体的な学生のボランティア活動として 2024 年 10 月に地域の公民館活動の一環としてメイクアップ講座に講師として教員及び学生が参加し地域の住民の方々との交流を行いました。これらの地域貢献活動に参加した学生にとって貴重な経験となりました。

【課題及びその改善方策】

特になし。

【委員の方からのご意見】

特になし。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
11-1-1	学校の教育資源や施設を活用し、社会貢献・地域貢献を行っているか。	S	S
11-1-2	学生のボランティア活動を奨励、具体的な活動支援をしているか。	S	S